

平成29年度和歌山県文化賞

さいとう・たかを(本名 ^{さいとう} 齊藤 ^{たかお} 隆夫)

住 所 東京都中野区
出身地 和歌山県和歌山市
生年月日 昭和11年11月3日

◎ 業績及び経歴

昭和11年西和佐村(現和歌山市)に生まれ、大阪市及び福泉町(現堺市)で育つ。理髪師をしながら17歳から約2年かけて描いた「空気男爵」で昭和30年にデビュー。その後、21歳の頃に上京し、仲間と「劇画工房」を結成。まるで映画のように大人が感動する「劇画」というジャンルを定着させる。さらに昭和35年には、制作過程を映画づくりのような分業制にした「さいとう・プロダクション」を設立し、劇画界をリードする。

昭和43年11月発売のビッグコミック(小学館発行)で連載がスタートした「ゴルゴ13」は、超一流スナイパーの活躍を描く劇画で、現在まで一度も休載することなく連載が続いており、コミック界における連載最長記録を更新し続けている。その他にも「台風五郎」「デビルキング」「ベリー・ファザー」「カウント8で起て!」「無用ノ介」「バロム・1」「影狩り」「サバイバル」「雲盗り斬平」「鬼平犯科帳」「剣客商売」「仕掛人藤枝梅安」などの代表作があり、多数の作品を発表している。

特に「ゴルゴ13」は国民の人気を誇る劇画で、主人公のデューク東郷が、不可能な依頼にもあらゆる技量と知識、経験値から解決策を見出し遂行するという物語が幅広い世代から支持され続け、今年で連載50周年の節目を迎える。これを記念し、昨年10月6日から11月27日まで大阪文化館・天保山において「連載50周年記念特別展 さいとう・たかを ゴルゴ13」を開催。これまで未公開であった貴重な原画、愛用のモデルガン、制作現場などが惜しげもなく登場し、訪れた鑑賞者がゴルゴの魅力に酔いしれた。

氏は数々のヒット作品を生み出してきた日本を代表する劇画家であり、平成27年には画業60年を迎えた。81歳を超えた今も多くの作品を描き続けており、劇画を通して我が国の漫画文化の向上発展に尽力してきた功績は計り知れない。



■ 現 在

- ・劇画家
- ・株式会社さいとう・プロダクション 代表取締役

◆ 主な表彰歴等

- 昭和50年 「ゴルゴ13」第21回小学館漫画賞(青年一般部門)
- 平成15年 紫綬褒章
- 平成15年 第1回理容チョキちゃん大賞
- 平成16年 「ゴルゴ13」第50回小学館漫画賞 審査委員特別賞
- 平成22年 旭日小綬章